

## 東京大学附属図書館「アジア研究図書館」計画と U-PARL の試み

### — まだない図書館からの情報発信—

冨澤かな

(U-PARL 特任准教授・副部門長)

## 1. アジア研究図書館計画と U-PARL の概要

「アジア研究図書館とは何か」

\*詳しくは…[http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/asia\\_about](http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/asia_about) \*リーフレットPDFもあり

- ・アジア資料の集約と拡充
- ・研究機能を持つ新しい図書館の実現 → 東大内外のアジア研究のハブの構築

### (1) アジア資料の集約と拡充

2013年予備アンケートによれば学内から集まるのは… 雑誌・漢籍含め74万冊?

### (2) 研究機能を持つ図書館の実現

従来は… 附属図書館には研究者の所属無し・図書館はあくまで教育・研究支援組織  
研究資料蓄積の拠点は各部局・研究室

あらたに… 資料と研究が循環する「図書館型アジア研究」の場の構築

- ・図書館業務と研究の緊密な連携
- ・アジアに関する多様な研究を資料を介して仲介・連携
- ・図書館に属するがゆえの新たな「メタ・アジア研究」「トランス・アジア研究」へ

### (3) 対象・目的・課題の再考

対象： 教育／研究      分野： 人文／社会／科学      空間： 学内／学外      国内／国外

- ・東京大学の役割の見直し
- ・「文系の危機」「大学の危機」への対応
- ・「研究機能を持つ図書館」の開設 cf. 図書館を持つ研究施設
- ・「アジア研究」の過去・現在・未来の見直し



◀ 計画と U-PARL の全体イメージ

## 2. U-PARL の活動概要

「U-PARL とは」 詳しくは…リーフレットと <http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/about-ja> 参照

活動三分野：①図書館構築・運営支援 ②新しい「図書館型アジア研究」 ③成果の発信・還元

### (1) 図書館構築・運営支援上のさまざまな課題

- 今までに無い購入ルートの定着
  - ・海外での／からの直接収書等
- 「まだない図書館」での資料登録
  - ・OPACに出すか・ローカル登録とNC登録
  - ・一時配架とその有無
- 多言語資料への対応
  - ・学生、留学生の協力をどう正確で無駄の無い登録に結びつけるか
  - ・エクセル表利用の有効性と限定性
  - ・ACCU資料での試行
- 非書籍資料への対応可能性(特に自動化書庫)
  - ・NC登録無し・ローカル登録のみでOPACに出しうるか
  - ・アーキビストのいない組織で非書籍資料をどう扱うか
- 独自の開架分類の検討・確定
  - ・「地域>言語>主題」の三段階の分類
  - ・通し番号がつけられない前提でどのレベルで資料特定するか
  - ・NDCに詳しくなくても分類可能である必要性
- 新しい「アジア研究図書館」の収書
  - ・従来の研究者による収書とは違う体系性が必要
  - ・特に開架に置くべき資料の検討
    - 三段階の想定と「百選」選定
  - ・「収書方針」をどうするか
- 開架フロアのデザイン検討

### (2) 新しい「図書館型アジア研究」のさまざまな課題

- アジア研究
  - ・多様な地域・時代・分野・方法論の研究が集まり協働する場の構築 →トランス・アジア、メタ・アジア研究へ
- 資料デジタル化の研究
  - ・「新図書館計画」のデジタルアーカイブズ基盤構築計画との連動
    - 特にメタデータの検討 ...マッピングの問題
  - ・アジア資料のメタデータの検討
    - ...各国のアーカイブズ基盤研究、拓本・法帖の研究
  - ・データベース構築を伴わないデジタル化の検討
    - ...FlickrとHPの利用
  - ・IIIFの検討
- 図書館研究
  - ・内外の研究図書館の視察・聞き取り
    - ...特にサブジェクト・ライブラリアンとその代替機能、収書方針、デジタル化
  - ・デジタルブラウジングの可能性の検討
- 発信、社会還元
  - ・ポジウム
    - 自動化書庫化と代替ブラウジング機能の検討

### 3. U-PARLの情報発信

#### (1) HP ほかの情報発信

- ・HP 例・「世界の図書館から」(現在 34 館)、「アジア研究この一冊！」(現在 4 冊) 等
- ・東大生協との協力による「U-PARL グッズ」の展開

#### (2) まだない図書館の資料提供

- ・商業系 DB の導入+利用情報の提供 …ウオークインユーザー対応問題も重要
- ・台湾国家図書館と附属図書館の協定による TRCCS (台湾漢学リソースセンター)
- ・導入資料の一部・一時公開と情報提供

#### (3) シンポジウム・ワークショップ・セミナー

##### ●大型シンポ・むすび、ひらくアジア

- ・2015年1月31日 テーマ:新しいアジア研究と図書館のあり方を考える
- ・2017年1月29日 テーマ:アジアの中の+アジアをめぐる、〈共有〉を考える \*東大TV参照


##### ●専門的なセミナー・ワークショップなど

- ・合宿型資料読解セミナー: 若手研究者の能力向上と情報交換
- ・広域的「漢籍」シリーズ: 「朝鮮時代公文書における草書—東アジア書字文化比較研究の試み—」「東アジア漢籍世界の沃野」
- ・公開ワークショップ「Archiving of Asia in Asia (コルカタにおける植民地期貴重資料アーカイビングプロジェクト)」

##### ●アジア研究文献探索セミナー

- 第1回「中国語文献編」 第2回「中東・イスラーム研究文献編」  
第3回「韓国朝鮮語文献編」 第4回「日本語と英語で収集する全アジア編」

##### \*各回の概要

	<b>第1回「中国語文献編」</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 東大TREEおよびCiniiのおさらい</li><li>▶ CNKIの説明、実習</li><li>▶ TRCCS提供論文データベース(NDLTDとPerioPath)の説明、実習</li><li>▶ 興味のあるトピックについて文献リストを作ってみる</li></ul>
	<b>第2回「中東・イスラーム研究文献編」</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ インターネット以外の検索手段: 有用な研究マニュアル等の紹介</li><li>▶ 有用なDBやウェブ情報の紹介 Encyclopaedia of Islam Online、EBSCO eBook Collection、ジャパンナレッジ、電子ジャーナル、「日本における中東研究文献DB」、文献案内・リンク集</li><li>▶ 検索システムの仕組みと活用方法を特にアラビア語翻字の問題から解説</li></ul>
	<b>第3回「韓国朝鮮語文献編」</b> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 日本における韓国朝鮮語文献の探索方法</li><li>▶ 韓国の一般的なサイトの利用方法 韓国の論文データベースDB pia、KISS等の説明、実習の説明、実習</li><li>▶ 韓国の歴史学関係サイト紹介 韓国の国立中央図書館サイトや韓国史データベースについて説明、実習</li></ul>
	<b>第4回「日本語と英語で収集する全アジア編」</b> *関西館の田中講師を招聘 <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 日本語、英語で得られるアジア情報: さまざまな情報ソースの概観</li><li>▶ AsiaLinks—アジア関係リンク集—とは</li><li>▶ 実習</li><li>▶ 国立国会図書館のアジア関係資料</li></ul>
参考: GACoS「講習教材」 <a href="http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/text.html">http://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/text.html</a>	

東大で支持され成立・発展しうる+東大をこえて使われうる・広がりうる  
「アジア研究図書館」の資料・研究・活動のあり方の見極めの必要